

常なる磐

つねなる いわ seasonⅡ
令和3年10月22日(金)

◇ 学習発表会に向けて②

明日は「学習発表会」。練習時に見せる表情や態度に形を変え、表出された子供たちの気持ちの高まりは最高潮にある。あとは、本番での披露を待つのみだ。

学習発表会を迎えるにあたり、子供たちは大きく成長した。その立役者は声だ。役割を担い、練習を重ねる中で担任や学級の仲間からもらう称賛の声。身近な他人から受ける「この声」の効果は絶大だ。次なる一歩に進むための大きな励みとなり、最大の推進力となる。

「もっと大きな声を出してみよう」「次は、こうしてみよう」という前向きな思い。これは、まさしく校訓【求めて 励む】。


練習では、このプラスの状態が重なり、増長され、厚みを増していくから素晴らしい。どんどん、いいものに仕上がっていく。自分は中学校の合唱コンクール指導・合唱づくりの経験しかないが、担任は、楽しくて仕方なかろう。

さて、明日の演目内容について、少し紹介する。(※3・4年生の演目は、先週号で紹介済み)



◆1・2年生 民話劇「さるじぞう」

学芸会的な要素が強いように思うかもしれないが、授業を見てきた自分からすれば、何故この演目を選んだかが理解できる。

見どころはたくさんあるが、推しは「 猿の演技と踊り」。体育の表現運動で学んだ様々な動物の動きを生かし、リズム感のあるダンスは音楽と体育の合わせ技だ。

もちろん歌唱は音楽。大きな声での発声は、日常の学習で3人の担任が鍛えた見えない力の結晶である。大道具は、これまた本劇用に新たにこしらえた担任の傑作。それらを生かす「衣装」と「小道具」。保護者の協力の跡が随所に見受けられ、感謝、感謝である。隠し味はBGM演奏。青木教諭が奏でるピアノ演奏付き。

◆5・6年生 英会話「友達を紹介しよう」



教科となった「外国語科(小学校英語)」の学びを生かした英会話を、寸劇に織り込んだ発表。その練習の様子が左の写真。

2人の担任が児童の近くと遠目に位置しているのは、前は表現指導、後方は音が届いているかの確認。役割分担をして指導にあたる工夫がある。

タブレットで撮影しながら、あとで児童も映像を見て確認する手法は、今年度に始まった形。中学年も同様にやっている。

演目は、【英会話】のほか、【群読「いのち」】、【合奏「銀河をこえて」】、さらに4年生を交えた上学年で【常磐獅子&篠笛演奏】。4・5・6年生は、実に4演目。発表内容のほとんどを音楽や国語、道徳の授業、クラブ活動の学びで対応し、合わせ練習時間は本当に少ない中でやっているところが上学年のすごいところだ。

衣装の法被^{はっぴ}も様になっているが、注目したいのが「篠笛」の支えと姿勢。



曲げた肘の角度が重要で、きちんと支えるから篠笛が横に位置する。こうすることで顔が俯^{うつむ}くことなく真っ直ぐに正面を見る形となり、立った上体により理想的な形で息を送り込むことができる。洋笛のフルートを吹く時と同様の姿勢といってもよい。肘を上げて立つ演奏姿勢が非日常動作だから、なかなか苦しい。それでもきちんとできる5・6年生は流石というしかない。大きな伸びは4年生。随分と格好よくなり、ほとんど見劣りしないほど急成長したのも流石。きれいな音色を響かせることができるのは、美しい姿勢のおかげなのである。

さあ、あとは本番を待つばかり。

児童の堂々とした姿、そして学びの成果を、是非ご家族にご覧いただきたい。

【常磐東小学校 学習発表会プログラム】

- ◇ 9:05～ 9:25 1・2年生【民話劇「さるじぞう」】
- ◇ 9:30～ 9:40 上学年(4・5・6年生)【篠笛&伝統芸能「常磐獅子」】
- ◇ 9:50～ 10:10 3・4年生【合唱「歌のにじ」】【朗読劇「いのちのまつり」】【合唱「パフ」】
- ◇ 10:20～ 10:40 5・6年生【英会話「友達を紹介しよう」】【群読「いのち」】【合奏「銀河をこえて」】